

語り継ぎたい 戦争と女性



あざれあ
図書室通信
No.89/2020.6

あなたと情報をリンク！男女共同参画をもっと身近に！

戦後史の穴 二日市保養所



忘却の引揚げ史
：泉靖一と二日市保養所
210.7/シモ
下川正晴
弦書房 2017年

敗戦後の博多で、引揚げ中に性暴力被害を受けた女性たちの人工中絶病院「二日市保養所」を作った文化人類学者の泉靖一。彼はその業績を自ら封印しました。“空白の二年間”を丹念に追い、歴史の穴に埋もれようとしていた、悲劇と再生の場所「二日市保養所」へ光を当てます。

70年の沈黙を破った証言



女たちのシベリア抑留
210.7/コヤ
小柳ちひろ
文藝春秋 2019年

従軍看護婦、電話交換手、民間人…。1000人近い日本人女性が、戦後シベリアに捕虜として抑留されていたことを知っていますか？数年後に帰国できた彼女たちが、70年以上の沈黙を破って、収容所の生活や強制労働、仲間の死などを初めて証言します。埋もれていた歴史を伝えるノンフィクションです。

密かに埋葬された嬰兒たち

女たちのアンダーグラウンド
：戦後横浜の光と闇
213.7/ヤマ
山崎洋子
亜紀書房 2019年



戦後、日本人女性と占領軍兵士の間に生まれた子どもたちは、どんな運命を辿ったのでしょうか。根岸外国人墓地、特殊慰安施設協会、エリザベス・サンダース・ホームなど、敗戦直後から現在の横浜を舞台に歴史の裏側を浮き彫りにします。前作から20年を経て完結した作品です。

絵本で知る日本軍慰安婦

花ばあば
K210.7/クオ
クオン・ユンドク // 絵・文
ころから 2018年



日本を悪者としてではなく、普遍的な戦争と性暴力の問題を描きたいと苦心した作者。韓国伝統美術の技法を用いて、モデルとなった慰安婦被害者が好きだった花をモチーフにした美しい絵本が出来上がりました。「日・中・韓 平和絵本」プロジェクトの中の1冊、子どもから読むことができます。

歴史のなかに埋もれていた出来事を掘り起こす本の出版が相次いでいます。

戦後75周年を迎えようとする今、“銃後を守る”だけではなかった戦争と女性についての本をご紹介します。

“戦争と女性”は 男女共同参画のキーワード 2020年度は各分野の本からピックアップ！



なんでも質問箱

Q：図書室まで行かなくても予約できる？

A：WEBサイトから予約できます。
あらかじめ、利用者カードの登録が
必要です。

- ① あざれあナビの図書室ページ【本を探す・予約する】で検索
- ② 検索結果一覧から予約したい本やDVDの【予約かごに追加】を選択
- ③ 利用者カードの番号とパスワードを入力
- ④ 【予約かご】から【予約】を選択
- ⑤ 連絡方法を指定して【予約ボタン】をクリック
- ⑥ 予約完了！

予約の順番になり次第、⑤で指定の連絡方法でご連絡します。

あざれあ コミックダイアリー



『傘寿まり子』

1～12巻
(以下続刊)

おざわゆき
講談社

2016年～

ベテラン作家の幸田まり子は、家に居場所がないことを感じて家出を決行！ネットカフェでの寝泊まり、憧れのひととの再会、ウェブマガジンの立ち上げなど、80歳のヒロインのバイタリティから目が離せません。孤独死や認知症など、高齢者ゆえの不安も丁寧に描かれている作品です。

ジェンダーの視点で楽しむ 絵本

あざれあ図書室の
コア・コレクションを
ご紹介します！

ジェンダー

『たかくとびたて女の子』

ラケル・ディアス・レゲーラ

汐文社 2020年



パイロット、作家、バイオリニスト、それぞれに夢がある3人の女の子。ところが、悪の軍団「ソレハムリ」のせいで、自分でも気づかないうちにあきらめてしまい……。ふとしたきっかけで大切なことに気づいた彼女たち。誰もがきれいなつばさを持っていることを忘れずにいたいですね。

県内の図書館で開催！

企画展「2020 男女共同参画おすすめ BOOK」

6月23日～29日の男女共同参画週間に合わせて、企画展「2020 男女共同参画おすすめ BOOK」が開催されます。

この企画展は、2019年に出版された男女共同参画に関する本を、県内の男女共同参画関連施設や公共図書館で一斉に展示するものです。

あざれあ図書室では、6月いっぱい展示する予定です。お近くの図書館も、ぜひ覗いてみてくださいね！

※企画展開催の有無、期間等は各図書館へお問い合わせください。



静岡県男女共同参画センター2階 あざれあ図書室

★開室時間★ 平日 9:00～18:00、土日祝日 9:00～17:00

★休室日★ 第1・3・5日曜日、図書整理日(6/24)

★貸出★ 図書・雑誌5冊、ビデオ・DVD2本 2週間

*貸出カードが必要です。現住所・生年月日を確認できる証明書をお持ちください。

〒422-8063 静岡市駿河区馬淵1丁目17-1 TEL: 054-255-8763 FAX: 054-255-8759

MAIL: library@azarea-navi.jp

URL: https://www.azarea-navi.jp/library/



【編集後記】

ほんの少し前の日常が、どれほど貴重なものだったか……。非日常が当たり前になっていくこの感覚を忘れないでいたいと思います。(菊)